

GIGAスクール第2期に向けての取組について

GIGAスクール第2期の概要

1. ICTを活用した教育環境の更なる充実
 - ・着実な端末更新
 - ・通信ネットワークの改善
 - ・地域間格差の解消に向けた好事例の創出、ICT運用支援を含む伴走支援の強化
 - ・デジタル教科書等の学習ソフトの活用促進
2. 次世代の校務DXの実現
 - ・校務系、学習系ネットワークの統合
 - ・校務支援システムのクラウド化
 - ・データ連携基盤(ダッシュボード)の創出

ICT機器等更新スケジュール

		令和6年度			令和7年度											
		2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
生徒用端末	調達事業者の選定	■														
	指名審査会			■												
	入札			■												
	契約			■												
	整備				■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	運用開始															■
生徒用端末以外	指名審査会			■												
	プロポーザル実施			■	■	■	■	■								
	指名審査会(機器借上)							■								
	入札(機器借上)							■								
	契約(機器借上)							■								
	整備								■	■	■	■	■	■	■	■
	運用開始															■

- 生徒用端末については、県共同調達により調達業者選定。県が選定した業者から納品を受けることを条件に村が入札でリース業者決定。
- 生徒用端末以外の機器及びシステム等については、プロポーザル(一般公募型)により機器調達及び委託業務の提案者を特定。プロポーザルで決定した業者から調達することを条件に入札でリース業者を決定。

令和7年度ICT機器等更新内容

主な整備機器・環境

機器・環境	数量	更新内容	備考
生徒用端末	440台	Chromebook	予備台数(令和7年度生徒数の10%)を含む
教職員用端末	65台	Windows端末	非常勤講師用を含む
電子黒板	27台	普通教室 18台 → 16台 特別支援教室 5台 → 4台 特別教室 7台 → 7台 合計 30台 → 27台	今後の学級数を考慮し台数を見直し 750,000円/台
実物投影機	0台	電子黒板に内蔵されているため更新しない	
セキュリティ関係	-	境界分離型からゼロトラスト型(ネットワーク分離を必要としない認証によるアクセス制限を前提とした構成)へ移行	文科省の「教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」で推奨

海部地区の電子黒板の設置台数・活用状況

市町村	電子黒板の設置台数・活用状況
津島市	・移動式のを各校1台設置 ・普通教室:小学校は移動式モニター、中学校は天吊りプロジェクターを設置
あま市	・移動式のを各校3台程度設置 ・普通教室:天井固定式モニターを設置
愛西市	・過去に購入したものがあがるが、使用していない ・普通教室:天吊りプロジェクターを設置
弥富市	・移動式のを各校1~10台あがるが、使用していない ・普通教室:天井固定式モニターか移動式プロジェクターを設置(各校選択)
大治町	・各校1~3台あがるが、使用していない ・普通教室:天井固定式モニターを設置
蟹江町	・各校数台あがるが、使用していない ・普通教室:天井固定式モニターか移動式プロジェクターを設置(各校選択)
飛島村	・普通教室及び特別教室に電子黒板を設置

導入予定の有償授業支援・学習ソフト

ソフト名	備考
スクールタクト	授業支援・協働学習用クラウド
Eライブラリforまなびポケット	デジタルドリル
Netモラルforまなびポケット	情報モラル教材
WEBQU	学校経営サポートシステム いじめ防止や不登校傾向の生徒を事前にキャッチ
リアテングラント	自動採点システム
【新規】 おもてなCityへようこそ	英語学習用アプリ ※令和6年度試行→モデル校として更新まで無料

更新しない有償授業支援・学習ソフト

ソフト名	ソフトの概要及び削除理由
InterCLASS	授業支援・協働学習システム。スクールタクトと機能が被っていることや、現在の使用頻度の低さを鑑みて更新しない
CaLabo Language	スピーキング学習システム。ネイティブな発音や発音記号、口の形を学習可能。現在の利用頻度が低いことと、おもてなCityへようこそで代用可能であることから更新しない

ゼロトラスト環境の構築

現状構成(境界分離・防御)

現状の構成では内部は安全、外部(インターネット)は危険という前提でセキュリティ対策を考える

内部でも各NWの境界をFirewallで分離

内部と外部の境界をFirewallで防御

①校務系 ②校務外部接続系 ③学習系

内部ネットワーク

対策ポイント 内部NWと外部NWの境界に置いたFirewallで防御

アクセス制御 内部LANに繋がった端末はデータにアクセス可能

アクセス制御(ゼロトラスト)

アクセス制御(ゼロトラスト)では、内部ネットワークだからといって安全とは限らないという前提でセキュリティ対策を考える

すべてのサービス・システムは認証基盤で認証を受け、利用する

データセンター

認証基盤 (IDaaS)

オフィス・自宅・出張先

対策ポイント クラウド・ネットワーク・端末それぞれで防御

アクセス制御 安全性が確認できた端末がデータにアクセス可能

ゼロトラスト型のメリット

- ・校務系、学習系の切替が不要
- ・ファイル受け渡しが効率化
- ・ロケーションフリー
- ⇒教職員の業務の円滑化、効率化

ゼロトラスト型の課題

- ・機微な情報の取り扱い
- ・教職員端末管理の運用
- ⇒セキュリティポリシーの見直し、端末管理の運用方針の整備

電子黒板について ノート機能



パソコンとして活用

- ・デジタル教科書提示
- ・自作教材提示

外部機器と接続して使用

- ・無線接続(教師)
- ・複数モニタ接続

個別学習



6年 算数 図形の学習



1年 生活科 アサガオの記録

タブレット端末の活用

個別学習



7年社会科



8年 TOBI探

タブレット端末の活用

協働学習



1年音楽 演奏確認



5年音楽 表現確認

タブレット端末の活用

協働学習



提出された振り返りの共有



8年数学 グループ学習

タブレット端末の活用

家庭学習

整数と小数の位

42.195

AIアプリを使った学習

タブレットで生徒へ連絡

タブレット端末の活用

プログラミング教育

朝学習 プログラミング

タブレット端末の活用

プログラミング教育



1・2年生
・ビスケット



3・4年生
・ロボホン
・スクラッチ



5～7年生
・マイクロビット
・スクラッチ

8年生
カワサキロボットスクールで大型ロボットのプログラミング、
操作体験
9年生 技術の授業で学習

タブレット端末の活用

プログラミング教育



5年 マイクロビット



3年 ロボホン

タブレット端末の活用

飛島未来探究科での活用



3年 ロボホンを野菜販売で活用



6年 スクラッチでデジタル
防災マップ作成

タブレット端末の活用

早寝・早起き・朝ごはん アプリコンテスト



早寝・早起き・朝ごはんアプリ説明



生徒の作品データ

国立青少年教育振興機構賞 受賞
7年 伊藤 愛依子さん

タブレット端末の活用

今後の展望 ～GIGAスクール第2期に向けて～

令和8年3月更新
スムーズな更新で生徒の学びをとめない



- ゼロトラスト環境の導入により各種データの収集、分析が可能
⇒学校経営、学習指導、生徒理解に生かす
- デジタルの強みをさらに生かした取組
⇒端末を使いこなす生徒の育成
⇒わかりやすく、楽しい授業の展開
⇒保護者・地域との連携に活用
- セキュリティ対策の強化
⇒生徒のリテラシー教育
⇒教職員の端末管理